

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全体により協議して決定した、理念、方針は各フロアーに掲示している。	○ 生活の一部としての、おやつのお買出し、美容院、生活用品のお買出しなどは地域の中で馴染みの関係が築けるようになっている。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	掲示を行い職員に周知徹底を図っている。また、毎月の業務会議の中でも、常に、問いかけ、取り組んでいる。	○ 天候の良い日には、出来るだけ外へ出るようにして特別の用事がなくても地域の一員であることを感じてもらえるようにしている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関、フロアーには掲示を行っている。	○ 今後も地域の中で、自然に溶け込めるようにその中で伝えていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々とは、気軽に挨拶を交わし、また行事や防災訓練時などにも必ず声をかけするようにしている。	○ 隣の畑を一部お借りして野菜作りを始めたことにより、過程の中で会話が増え、地域の方のほうからお声がかかるようになった。収穫の野菜の調理法やおすそ分けなどを自然にできるようになった。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	定期的に運営推進会議をもち交流の機会があれば参加させていただいている。	○ 自治会の運動会や地域の高校の行事に参加させていただいている。また小学生の登下校時の見守り隊にも参加している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	出来ていない。	○	運営推進会議において自治会が老人会館を建設された、ということで協力できないことがないか現在情報交換中。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価で助言を受けた点において改善に取り組んだ。	○	自己評価をフロアごとにで行い、まずは出来る事から少しずつ行っていた。全員で取り組んだことを毎日の業務のなかで確認し確実に結果がでていることを全員で確かめ、更に取り組んでいる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	報告書も提出しており、それも参考に課題を挙げて質問、情報交換を行い、意見をいただき実践につながるよう努力している。	○	申し送り、業務会議などにて必ず報告を行なっている。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	利用者、家族間で問題視している内容について相談、助言、解決へ向けての協議、協働を行った。	○	常に連絡の機会をもち、報告を行っている。また、定期的な訪問の機会にも必ず同席できるように調整している。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今年度においては、学ぶ機会がなく、出来ていない。	○	研修の機会がある時は積極的に参加し、全員概要だけでも周知出来る様に学びの場をもっていく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	業務会議や法人内の勉強会などの伝達講習にて職員が把握でき、常に考えられるようにしている。	○	上記と同様に定期的に研修し啓発に取り組んでいきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	家族の思いに耳を傾け契約時にはその時々により予測されることに対する対応も含み、契約書、重要事項説明書の説明もきっちり行っている。また、利用料などの支払いについても契約時に再度確認している。解約時には受け入れ先などの意向はしっかりと聞き取り、それに沿う配慮を行っている。	○ 左記継続
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の意見、不満に対しては常に管理者、及び職員全体が耳を傾けている。	○ 外部へ表せる場合は苦情処理として扱い提出している。今後も同様に継続していく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員の異動については毎月のお便りの中で報告している。又各利用者の暮らしぶりも同様に報告し、特変や状態の変化、医療上の変更などは必ず、その都度報告している。金銭管理は収支を記帳し来所時に残高と残金を確認していただきサインをもらっている。	○ 左記継続
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、また苦情受付機関を明記した文書をあげている。	○ 法人本部とも連携をとり、引き続き苦情、意見などに耳を傾けていく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務会議にて必ず意見を聴く機会を設けている。	○ 職員の声には常に耳を傾け、法人本部にも相談し意見をいただき反映できるように心がけている。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況の変化により必要な場合は勤務調整を行い、また常にその事体に対応できるように職員には伝えている。	○ 必要時にはすぐに勤務変更できるように話し合っている。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的にはフロア制をとっており固定化している。異動、離職の場合、新職員よりきっちりコミュニケーションがとれるように指導している。	○	左記継続
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内にて1/月の勉強会を開催している。ただ今年度は事業所としての段階的な育成計画はできず、特に法人外への研修が出来なかった。	○	法人内勉強会はいうにおよばず、外部研修の機会を全ての職員に与えられるような勤務体制を整えていく。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度より、「中区グループホームの会」が起ち上がり、その参加により交流連携がとれるようになってきた。	○	左記継続
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ハード面での改善は難しいが、職員との半年ごとの個人面談などを通じ、介護職としての悩みや心配を訊き出せるように配慮している。	○	左記継続
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者には情報を提供し、また必要なときには直接の面談の機会を設けるなどしている。勤務状況などは実績表にて報告し、勉強会への参加の意欲が高まるような参加者による伝達講習など各自スキルアップをめざせるように努めている。	○	左記継続

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時には家族を通じ面接の形をとり話を聞いている。	○ 左記継続
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	状況によりケースワーカー、介護支援専門員を交えて今までの状況等を細かく聴き、アドバイスや意見をいただいている。時間が許せば、何度も話をする機会を設けている。	○ 左記継続
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を充分に行い当施設からアプローチできる支援内容を提示している。	○ 左記継続
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が了承の上で必ず見学、という形をとってもらい少しの時間でも職員、利用者と過す時間を設けている。その状況を基に家族などの支援者とともに本人の心身状態を見極めて調整をおこなっている。	○ どうしても早急の利用を必要とされる方に対しては環境に馴染めるまで家族などの支援者により本人との電話や訪問での関わりを強化し情報交換を頻回に行っていきたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の気持ちに共感し、会話をしている。また得意とされる事に関しては職員が教わる態度を示し、感謝の念を必ず表している。	○ 左記継続だが、職員によっては、職員側に合わせた介護になっていることも否めず、さらに啓発を行っていく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には細かいことも報告を行い、互いに協力し合えるよう、常に連携している。安心していただけるように些細なことでもうれしいことや、楽しいことは特に報告するようにしている。	○	左記継続
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者に必要であると思われることに関しては、協力を依頼しており、また家族の希望に関しても出来る限りの支援をしている。	○	左記継続
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が定期的に訪問される方もおられる。	○	左記継続
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	常に利用者同士の関係や状態を把握し更により良い関係が築けるように支援している。	○	左記継続
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所された後も時折面会にいたり、法人内の施設であることを活かし合同行事の時などはともに参加できるようにしている。	○	左記継続

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式については勉強中であり、全員の使用には至っていない。	○	現在ケアプランの勉強中であり、担当制をとることによってきめ細かい把握に努めている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の聞き取りだけでなく、本人の様子や家族から常に情報をいただくようにしている。	○	なるべく馴染みのものを持参していただき飾ったり使用できるようにしている。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	定期的なモニタリングと申し送りや日誌などを常に細かく目を通し、確認している。	○	左記継続
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	職員全員による意見を集め、担当者がそれをまとめてカンファレンスまでに原案を作っている。担当者が家族の思いを訊く事もある。	○	左記継続
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調、状況変化に伴ってカンファレンスを開催している。	○	左記継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子はケア記録に記載し、申し送りノートや申し送りにて情報の共有をはかっている。	○	左記継続
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個人の意向に沿った外出、買い物には出来る限りおこなっている。通院なども家族にその都度確認し同行を原則としているが無理な場合はこちらで行っている。	○	左記継続
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	当施設単独のボランティアはないが、法人の行事の一環としてのボランティアには協力してもらっている。	○	左記継続
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在は他のサービス利用はない。	○	今後も協力は求めて生きたい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	本人の権利擁護の主旨で相談し協働体制をとったケースがある。また家族からの苦情に対して、協働にて対応、解決に向けて対応した。	○	今後も必要時にはどんどん協力をもとめていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	<p>家族の希望や要望に関しては常にきいて対応が可能であれば行うようにしている。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	左記継続
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	左記継続
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	左記継続
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	左記継続
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>適した治療、看護は主治医はいるが医療現場ではないため限界があることを説明し可能なケアを充分説明、入院加療という形で本人、家族の理解を得ていく。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご家族、ケア関係者間で十分な情報交換を行い話し合いをもっている。	○	左記継続
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけなどは個人の尊厳を重んじ、気づいたことは職員同志互いに注意し合っている。また記録、個人情報についても充分配慮している。	○	左記継続
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いや、希望が自訴しやすいように対応をこころがけているが、家族の面会時に家族からその思いを聞く、ということもある。ゆっくりとその方に応じた説明をおこなっている。	○	左記継続
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に一日の流れは決めてはいるが個々にあわせた支援も充足できるように努めている。	○	左記継続
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の希望で美容院で定期的に毛染めとカットをされる方もおられる。地域の美容院を使い、会話も広がっている。お化粧される方もいる。	○	左記継続

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	食事前にはお口の体操を行なっている。
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	左記継続
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	左記継続
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	左記継続
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	左記継続
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	左記継続


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族の協力を得て、ご自身で小遣い程度を管理され、公衆電話を使われたり、職員同行の買い物時にも自身で支払いされている方もいる。	○	左記継続
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お天気のいい日にはなるべく外へでるようにしている。散歩だけではなく、法人への用事を一緒に歩いて行くなどもしている。喫茶や飲食などにも出かけている。	○	左記家俗
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と共に毎週馴染みのお店に行かれる方もいる。家族の都合が悪い時には職員が同行するようにしている。ファーストフードのお店や、クリスマスイルミネーションの見学などはとても喜ばれた。	○	左記継続
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話は設置しているが、携帯電話を所有し使用されている方もいる。	○	左記継続
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問の制限は行っていない。自由に出入り出来るようにしている。	○	左記継続
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人内には身体防止委員会も設置し、議事録は必ず回覧し身体拘束は一例もない。出入り口のセンサーのみ設置しているが入所時には説明し了解をいただいている。	○	左記継続

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	左記継続
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	左記継続
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	左記継続
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	ひやりはっと報告書をかいただけでなく、対応策の徹底と研修や会議での勉強会など学ぶ場をもっと作っていきたい。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	応急手当、初期対応など医学的な知識の勉強会や講習への参加をしていきたい。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	左記継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	契約時、かつ経過中にはその都度説明を必ず行っている。その上で個々に応じた対応策を考えながらできるだけ本人の思いを中心とした生活を心がけている。	○	左記継続
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期受診、健康チェック、異常の早期発見は介護の基本であるということを常に念頭に置き、情報を共有し管理者、医務と連携連絡を怠らなく対応している。緊急時の連絡網も貼り出している。	○	左記継続
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全職員は服薬に関わり、職員の申し送りノートの色を変えてすぐにわかるように徹底している。	○	左記継続
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	常に水分、食事量などを把握し、適時散歩、下腹部のマッサージなどを看護師より指導を受けたりしている。	○	左記継続
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	訪問歯科医、衛生士より常に指導、または情報の提供を受け、利用者の状態にあわせた口腔ケアを行っている。	○	左記継続
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量が少ない方に対しては、家族の協力を得て補食の用意や、食べやすい形や時間帯の工夫をしている。栄養量の低下がある方は主治医より栄養補助食品の処方もある。	○	左記継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染防止委員会も設置されマニュアル、また感染委員による視察もあり、助言や改善の指導を受けている。	○	左記継続
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材に関しては中身まで温度を確認し当日分のみを調理し、調理後は定められた基準に従って、廃棄している。調理器具もハイター消毒、熱湯消毒、日光消毒などにて管理している。	○	左記継続
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	出入り口には季節の花々を欠かさず植えており、利用者と共に水やりなど行っている。玄関先には季節毎の飾り付けなども毎月変えており見かけた方、家族からも楽しみにしてるんですよ、との声もいただいた。	○	左記継続
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は動きやすいように動線を確保、フローアーには季節感を取り入れる為、花や飾り付けなども工夫し、できるものは利用者と共に作成している。	○	左記継続
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	サブリビングがあり、ゆったりした椅子を置いている。またリビングの隅にはソファもあり、気の合った利用者同士の語らいの場にもなっている。	○	左記継続

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭での馴染みのもの、使ってこられたタンスや飾り棚も置かれ、自然に自分の部屋ということが認識できるようになっている。自分で写真などを壁に貼って楽しまれている方もおられる。	○	左記継続
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、カーテンを開け、窓を開けている。	○	左記継続
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーであり、ホームエレベーターも設置している。個々の状態に応じてシルバーカー、車椅子も使用されているが、車椅子のすれ違いが出来ない廊下であり、洗面所まわりなども狭く、車椅子自走される方には動きづらいようである。	○	出来るだけ動線が確保できるような環境整備を行っている。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各利用者の力を最大限に活かせるようなサポートを行っている。	○	左記継続
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物から庭への降り口が高い為、階段かスロープの検討をしている。建物の前のスペースを利用したり、隣の駐車場を日曜日に利用してお茶を飲んだり、おやつを食べたりしている。隣の畑をお借りしての野菜作りは今年度の活動の中で文字通りの大きな収穫となった。	○	引き続き畑の野菜作りが出来る様に法人に働きかけ、来年度も利用者にとって大きな喜びとなるようにしたい。

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

出来る限り、家庭に近い雰囲気の中でゆとりをもってその人のペースにあわせて生活できるように努めている。天気の良い日にはなるべく外へでることを心がけその中で買い物や、法人本部への用事などを組み込んでいる。地域の中でもゆったりと散歩できるように公園なども下調べしたり職員も常日頃から意識している。喫茶や美容院、買い物等は地域に行きつけの店も出来ている。また隣の畑をお借りしての野菜作りは、引き続き行っていきたい。日々の管理や水やりなど地域の方はかなり指導していただいたり、手助けをしていただいたので、もう少し自分達だけでできるような範囲でおこなっていきたい。家族も参加できるような行事なども今後は企画を考えている。入浴に関しても、今後も引き続いて毎日入れる体制を続けて、寝る前にも入れる事が出来ないか、現在意見を集めて検討している。